

経営比較分析表（平成30年度決算）

埼玉県 越生町

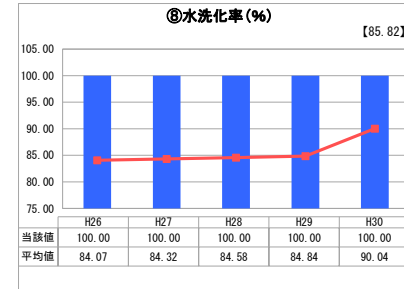
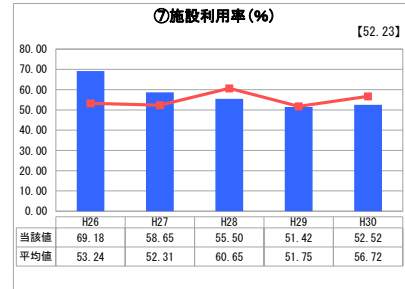
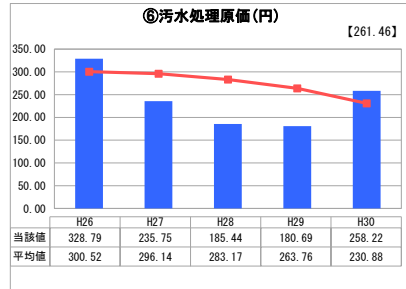
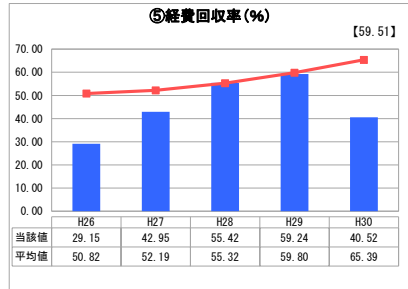
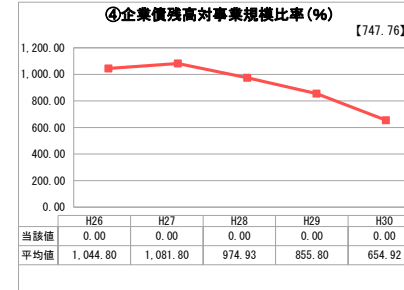
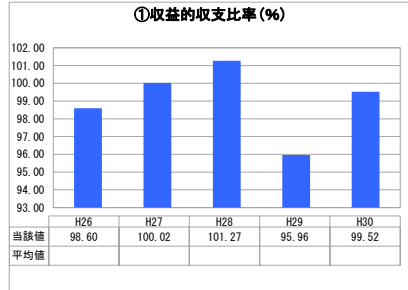
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.12	92.80	1,890

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,644	40.39	288.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,187	1.24	957.26

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

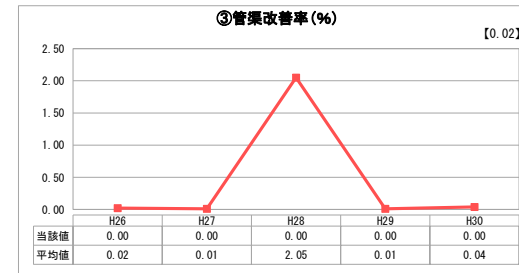
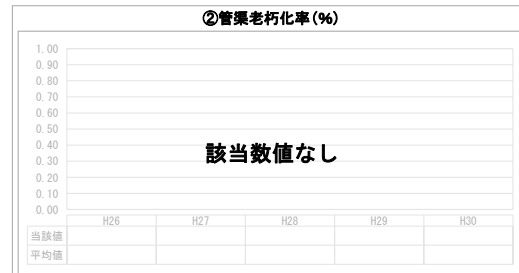
1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率が100%を下回り、経費回収率については引き続き低水準である。そのため使用料金を適正額に改定し、各費用の削減をしていきたい。しかし、使用料金を町内で同水準とするため、公共下水道組合と同等としており、各施設の老朽化等により、修繕費等の各費用が増加傾向のため難しい状況である。施設利用率は微増だが、汚水処理原価は平均よりも高くなってきている。越生町の人口は減少傾向であるが、数値を見ると横ばいの状況が数年間は続くと考えられる。

2. 老朽化の状況について

施設の機器について老朽化等により不具合・故障が増加してきているので、引き続き緊急性・重要性を考慮し、効率的に修繕・交換等を行いたいと考えている。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の機器の老朽化等により修繕費等の各費用が増加傾向であり、各指標も平均と比較し低水準なものもあるので、今後は主に緊急性・重要性を考慮し、効率的に機器の修繕・交換等を行いたいと考えている。今後、施設利用率は横ばいの状況が数年続くとは考えられるが、浄化槽から集落排水への移行案内チラシを配布するなどを行い、施設利用率を上げていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。